

見て**楽**しい、知って**び**っくり!

近場の**薬用植物園**へ

行ってみよう~



ヒマラヤの青いケシ

◆ 特集 ◆

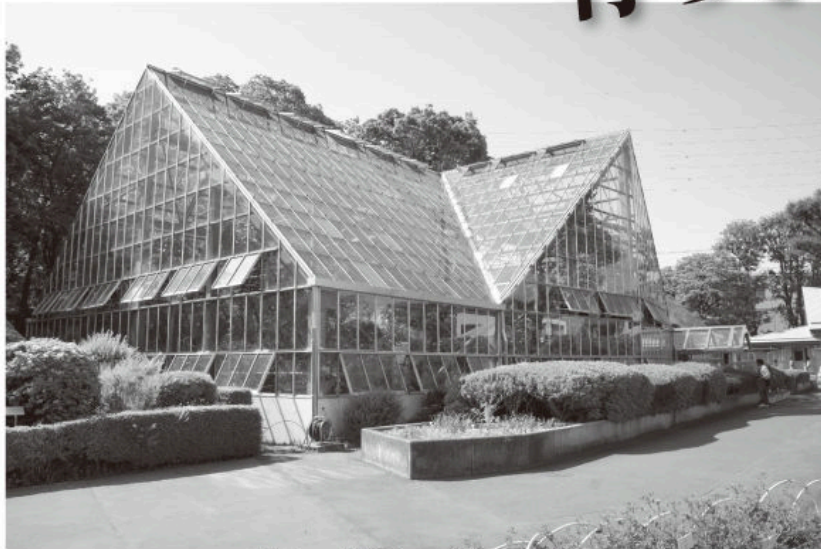
西武拝島線東大和市駅からすぐ、東京都薬用植物園は昭和21年に設立され、70年近い歴史を持つ。都民の健康と安全を確保するため、薬用植物、有毒植物、ハーブなどの栽培育成、試験検査、調査研究を行っています。平成15年度から健康安全研究センター内の組織として再編されたもの。園内は無料で一般公開され、

東京都薬用植物園 一年中楽しめる街なかのオアシス

樹木や花々の季節ごとの彩りを楽しめます。薬草教室等の開催や観察会もあり、薬用植物の正しい知識を得られる学習の場でもあります。

ケシの花が見られた5月

広々とした園内は総面積3万1398㎡、温室をはじめ、水生植物区、漢方薬原料植物区、ふれあいガーデンなど13の区域に分けられています。中でも「ケシ・アサ試験区」は東京都内で唯一のもので、ケシの中にはヒナゲシやアイスランドポピーのように植えていいものと、麻薬の原料を含有しているため「あへん法」等で栽培等が禁止されているケシがあります。これらの禁止されているケシが植えられている「ケシ・アサ試験区」は厳重に2重のフェン



珍しい植物がいっぱいの温室



たわわに実る
アーモンドの実

スに囲まれ、普段は見ることができないのですが、開花期となる5月には外柵が解放され、姿を現します。5月1日に訪れた時は「アツミゲシ」が薄紫の可憐な姿を見せていましたが、これにも麻薬成分が含まれているのです。「愛知県瀬美半島に帰化して大繁殖していたことからこの名があります。1個のけし坊主から何千個もの種が取れるので、繁殖力が強く空き地などで自生していたり、宅地の庭にも出てきたり、栽培等が禁止されていることを知らない人も多いのです」と同園主任研究員の中村耕さん。保健所などで駆除したケシがここに運ばれてきて、埋めて処分をしているのだそうです。

多種の植物 楽しみいろいろ

温室には珍しい植物がいっぱい。見上げるようなカカオの木には大きな実がなっていました。チョコレート



上・植えてはいけないアツミゲシ
下・植えていいモンツキヒナゲシ



の原料になることはもちろんですが、種子の脂肪が座薬の基剤になるって知りませんでした。併設の冷房室には、この日に咲いたという希少な「ヒマラヤの青いケシ」が一輪。繊細でどこか儂げで、天上の妖精と称えられているのがわかります。

ロックガーデンにはありとあらゆる山野草が植えられ、里山にいる気分。ふれあいガーデンの中の山小屋風の「草星舎」周辺はのどかな雰囲気。中では薬用植物に關した本や市内作業所のクラフト小物、ぶるべー関連商品が売られています。外にはテーブルやベンチも置かれ、一休みに最適。多種の鉢植えも手に入りますよ。リース作りや草木染めなどの講座も通年開かれています。



上・草星舎 花に囲まれて一休み
下・山野草が集められたロックガーデン



(花咲案内人の神沼克彦さんに会いました(上の写真)。ガイド

歴8年目。「黄色い腕章をつけていますので、いつでも声をかけてください。見頃の花などを案内します。お客さまに喜んでいただくのが一番うれしい」と定年後に自身の勉強、健康のために始めたという神沼さん。登録ガイド数は30名余り、予約も可能です。中村さんは「実際は野生植物の3種に1種は絶滅の恐れがあるので、保護していくことが大切です。ここは四季折々違った風景が見られ、毎日来てても楽しめますよ」と語ります。カメラを構える人、スケッチする人、思い思いに憩える街のオアシスです。

■開園時間 9時～16時30分
(10月～3月は16時まで)
■休園日 毎週月曜(6～3月 4～5月は臨時開園) 祝日の時は翌日
年末年始(都庁閉庁日)
小平市中島町21-1 ☎042(341)0344



木々の緑とのコントラストが美しい明薬資料館

明治薬科大学 薬用植物園・明薬資料館

清瀬市野塩にある明治薬科大学は創立113年を誇る伝統ある大学。平成10年に世田谷・田無キャンパスが統合され清瀬キャンパスに移転。今年の第100回薬剤師国家試験では、その合格率が(総合85・67%)全国私立大学56校中第1位に輝いたそうです。

正門入って右手に続く同大の付属施設、薬用植物園(薬草園)付近は武蔵野の雑木林が残り、「明薬の森」と称され、一般に開放されています。



上・薬草園園長の岡田嘉仁教授
左・さまざまな種類のハーブ園



清瀬キャンパス周辺にはカタクリなどが群生し、「清瀬カタクリまつり」の散策ルートにもなっています。薬草園園長で天然薬物学が専門の岡田嘉仁教授が案内してくださいました。

この薬草園は面積約920㎡、薬学教育と研究の場として使われていると同時に、研修会も開かれたり、貴重な場を提供しています。遊歩道のような通路の両側には手入れが行き届いた薬草がいっぱい。シランは紫色の花をつけ、漢方薬でその名を目にするトウキは雪片が集合したような花。砂地にはハマボウフウ、ハマゼリが。コウホネの黄色い花は夏にか

◆ 特集 ◆



ジャコウジカの剥製と下・麝香の香り体験コーナー



薬の名前が記された看板

ミイラ
黒い土のように見える



オタネニンジン（通称
チヨウセンニンジン）
トウキ
根が薬用に

けて盛りになりそうです。

このような生薬になる植物イコール漢方薬と思いがちですが、「生薬は漢方薬を構成する原料となるもので、植物だけではなく、動物、鉱物、貝殻などもあります。漢方薬は中国から入り、長い間かけて日本で独自にアレンジされてきたもの。このようなものには民間薬、食品扱いのものもあります」と岡田園長。ハーブ園もあり、静かで本当に心地いい空間です。

◆薬草園 開園時間 9時～17時
（冬期は16時） 日・祝日・大学休業は休園（正門または東門の守衛所に申し出。10名以上は要予約）
☎042（495）8904

お宝いっぱい！の明薬資料館

薬草園に続く資料館はその建物のりっぱさに驚き、館内の展示物に「へえ〜」の連続。歴史ある大学ならではの充実ぶりです。創学者、恩田重信（剛堂）氏に関連する資料をはじめ、江戸時代から続いた薬舗で、卒業生である大原紋三郎氏から寄贈された「大原薬業資料」の数々に当時の様子がわかります。重厚な看板や生薬を粉末にする「薬研」、植物油をとった「らんびき」、薬味筆筒など。寄贈資料の中でも「ミイラ（身胃羅）」に「へえ〜」。乾燥した人

花情報.....

東村山菖蒲まつり

6月6日（土）～21日（日）
10時～16時 北山公園

最盛期には200種類、8千株、10万本の花菖蒲が花をつける。まつり期間中は地元産品の模擬店、写真コンクールやスタンプラリーなどのイベント開催。
（問）042(394)0511 東村山商工会

こだいらあじさい祭り

6月17日（水）～20日（土）
あじさい公園

小平駅から東に徒歩5分、グリーンロード沿いにあるあじさい公園では約1200株のアジサイが見頃を迎える。期間中は撮影教室、剪定と挿し木の講習会、灯りまつりの燈籠に絵を描く教室などが催される。
（問）042(346)9581 産業振興課
（主催）小平市グリーンロード推進協議会
小平市あじさい公園アジサイボランティア部会



肉で、止血剤のような効果があったとか。日本で唯一現存されているものとされ、昨年の国立科学博物館特別展「医は仁術」に出展されました。「生薬資料」コーナーではカンゾウ（甘草）やダイオウ（大黃）をはじめ、私たちになじみ深い葛根湯などの漢方処方方を構成する生薬もわかりやすく展示されています。260cmもあるイツカク（二角）、サイカク（犀角）、ロクジョウ（鹿茸）などの動物生薬を見ていくと、人間が生命をつないでいくために、自然界の多種多様なものを利用してきたことを感じます。ひときわ目立つのは珍しいジャコウジカの剥製。一昨年卒業生の金井藤雄氏から寄贈されたもので、日本に数体しかない貴重なもの。採取され

る麝香は薬や香料として古くから珍重されてきましたが、乱獲のため現在はワシントン条約の対象となっています。研修室では麝香の香りを体験できるコーナーもあります。「ここは過去の歴史を知ること、現代の価値を学ぶ役割を担っています。ぜひ一度足を運んでください」資料館の開館日に合わせて、薬草園も一緒に見学するといいでしょう。

◆明薬資料館

開館日 火・水・木（13時～16時）
土（10時～13時 第2土曜除く）
開館時間内
☎042（495）8942
閉館時間外（学術情報課）
☎042（495）8605
清瀬市野塩2-1522-1
西武池袋線秋津駅徒歩12分